

## 新種 アンモナイト

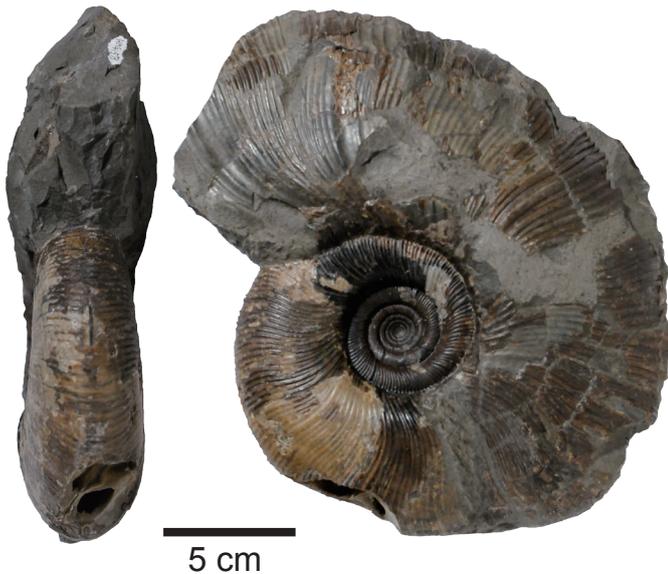
### ゴードリセラス・ホベツエンゼを発表

#### － 北太平洋地域の白亜紀地層の時代決定に有効 －

むかわ町穂別とその周辺地域に分布する白亜紀の地層から新種のアンモナイトが見つかり、ゴードリセラス・ホベツエンゼ (*Gaudryceras hobetsense* Shigeta and Nishimura) と命名されました。これは、重田康成先生 (国立科学博物館 研究主幹) と西村智弘 (穂別博物館) の共同研究によるもので、4月1日出版の日本古生物学会欧文誌 *Paleontological Research* で論文が発表されました。

新種のアンモナイトは、ゴードリセラス属の中では大型 (直径約 20 cm) になる種類で、成長初期の肋 (殻表面のおもに成長線に沿った凹凸) が細かいこと、成長後期の肋の断面形状が丸みを帯びていること、あるいは肋頂点の断面形状が平らであること、同時期に太い主肋が周期的に発達することが他種と異なり、これら特徴を基に新種を設立しました。

このアンモナイトは、白亜紀マストリヒチアン期最前期 (約 7,200 万年前) というごく限られた時代のみに生息していました。穂別地域の他にも、道北の中頓別地域、道東の浜中地域、アラスカ南部からもこの種類が産出していることが確認されました。これらの地域では、これまで地層の堆積した時代がよくわかっていませんでしたが、その時代は、白亜紀マストリヒチアン期最前期であることが今回の発見により明らかになりました。



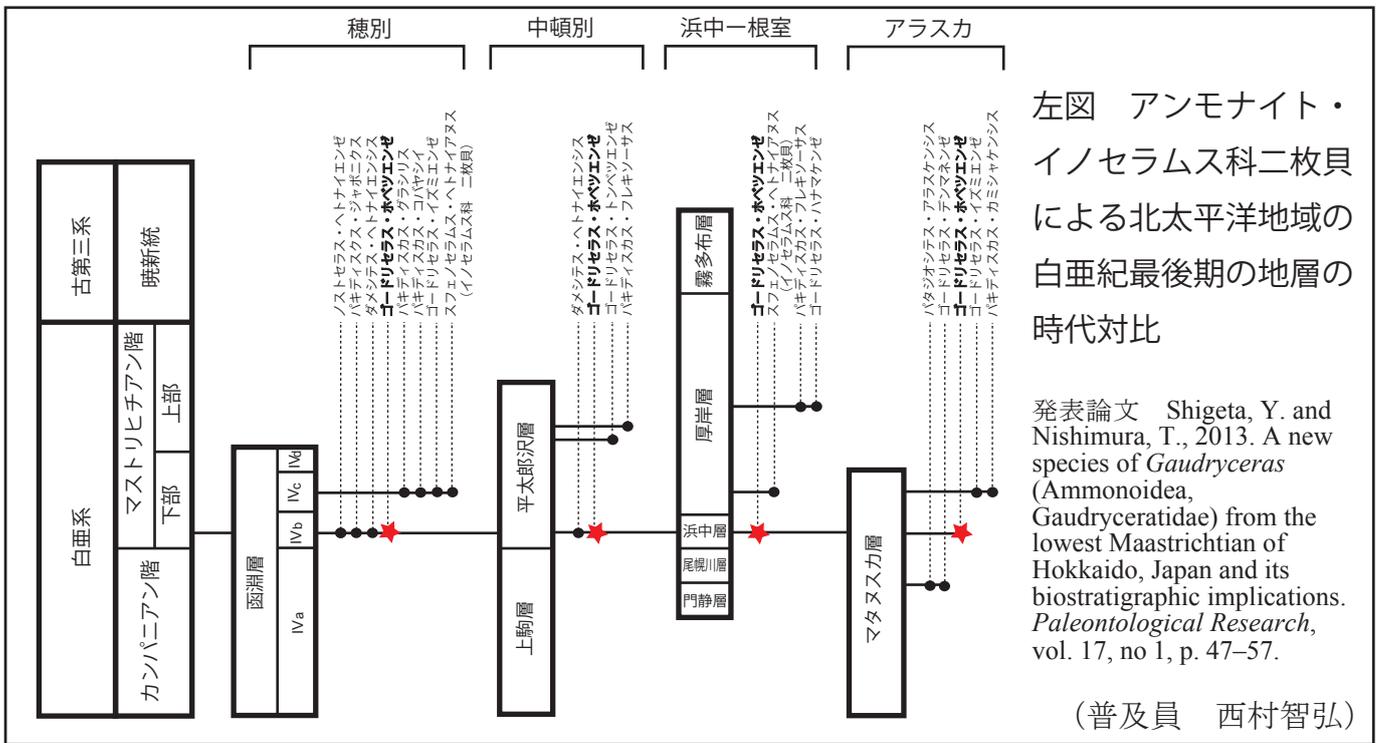
HMG-1573 完模式標本 (holotype)



HMG-134 副模式標本 (paratype)



HMG-1592 副模式標本 (paratype)



## ミニ展示 4/27 (土) ~ 6/30 (日) 穂別博物館特別展示室

### 新種 白亜紀アンモナイト ゴードリセラス・ホベツエンゼ

新種の標本を展示し、研究内容を詳しく紹介します。

### 普及講演会 6/2 (日) 入場無料 定員 50 名 (定員を超えると立ち見となる場合がございます)

穂別町民センター (むかわ町役場穂別総合支所隣接)

講演 西村智弘

### 北海道のアンモナイトとその研究史 13:00 ~ 15:00

世界的に有名な北海道のアンモナイトとそれらを用いた研究・研究史を紹介します。穂別の地質やアンモナイト、アンモナイト研究の位置付けについて話します。今回の新種発表の意義・研究史上の重要性がより良く理解できます。

### 新種の白亜紀アンモナイト; ゴードリセラス・ホベツエンゼの研究 15:30 ~ 16:00

研究内容についてお話しします。

## 5/18 (土・国際博物館の日) は町民無料入館日です。

[アクセス]

野外博物館  
穂別地球体験館  
穂別博物館  
中村記念館  
バス停 穂別中央  
コンビニ 至 稲里 夕張・札幌  
穂別川  
至 穂川市街 至 富内  
500m

穂別市街のガソリンスタンドは夜間と日曜日は営業していませんのでご注意ください。

開館時間 9:30~17:00 (最終入館 16:30)

入館料 個人/小~高校生: 100円  
大人 300円

団体/小~高校生: 50円  
大人 200円

※団体は10人以上 ※小学生未満は無料

### 休館日

2013年5月  
7(火) 8(水) 9(木)  
13(月) 20(月) 27(月)

2013年6月  
3(月) 10(月)  
17(月) 24(月)